

2022 総合問題（法経・社文）出題意図・解答例

【出】は「出題意図」を、【解】は「解答または解答例」を示す

1 .

問1【解】 e

問2【解】 日本では小集団を基礎に社会が構成されており、この小集団が個人にとっての宇宙全体となっている。そのため、職場の身近な小集団を離れては生きていけないという考えが強く、苦しい労働環境であっても辞めることができない。また、小集団を重んじる日本的な働き方により、周囲に合わせて遅くまで働くことが常態化してしまっている。労働時間を規制するための法制度よりも、こうした小集団の社会慣習が優先されることも原因の1つである。

問3【出】 下線部に示される筆者の主張を理解したうえで、それを現実の社会問題の分析に応用する力を問う。

出典：中根千枝『タテ社会と現代日本』（講談社，2019年）

2 .

問1【解】

	長所	短所
	迅速な意思決定ができる。	リーダーと異なる意見は尊重されない。
	多数の人が納得でき公平性を保てる。また、全員の合意を得るほどには時間がかからない。	少数意見が尊重されない。
	多様な意見が反映され、メンバー全員が納得できる。	全員の合意を得るにはかなりの時間を要する。

【注】いずれも必ずそうなるというのではなく、そうなる可能性が高いという意味である。また、他の解答を妨げるものではない。

問2【出】 正解のない課題につき、主体的かつ論理的に解を導くことができるかどうか、また、そのことをわかりやすく表現できるかどうか、問う。

3 .

問 【解】

○ × × ○ ○

出典

- ・国土交通省『平成30年度版交通政策白書』および『令和2年度版交通政策白書』
- ・内閣府『令和2年度交通安全白書』
- ・内閣府『令和3年度版高齢社会白書』